

令和6年第2回 北海道議会定例会〔一般質問〕開催状況

開催年月日 令和6年6月26日（水）

質問者 日本共産党 丸山 はるみ 議員

答弁者 交通企画監

| 質 問 要 旨   | 答 弁 要 旨   |
|---|---|
| <p><b>四 地方交通について</b></p> <p><b>（一）地方自治体の財政負担について</b></p> <p>北海道新幹線札幌延伸の2030年開業が期限未定のまま遅れると、5月8日、鉄道・運輸機構が発表しました。その後、知事は斉藤国交相に対して1日も早い開業を要請しましたが、延期に伴う地方自治体の負担金に対する軽減の項目はありませんでした。翌日行った「国の施策及び予算に関する提案・要望」では、地方負担の軽減にとどまっていますが、開業延期に伴う地方負担増への対策は一刻も早く緊急に行うべきです。</p> <p>なぜ開業も見通せない新幹線の事業負担について、斉藤国交相に対して負担軽減を要請しなかったのか理由を伺います。</p> <p><b>（二）新幹線建設負担金の支出について</b></p> <p>北海道新幹線鉄道整備事業費の道負担金は、昨年度までの累計で2,689億円。札幌延伸工事に限っても1,763億4千万円にもなっています。</p> <p>開業時期を示せないということは、更なる事業費の増加につながり、道と沿線自治体は青天井の如く負担を求められる可能性があり、実現可能性が見通せない中、道民理解を到底得られないと考えます。道として際限なく負担金を支払い続けるのでしょうか。</p> | <p><b>【交通企画監】</b></p> <p>北海道新幹線事業に係る地方負担の国への要請についてでございますが、北海道新幹線の新函館北斗・札幌間の事業費につきましては、令和4年12月に、6,445億円が増加されたことに伴い、道では、財政状況が厳しい道や関係自治体の負担にできる限り影響を及ぼさないよう、国に対し、地方負担の軽減について、直ちに緊急要望を行ったところでございます。</p> <p>また、道としては、予てから毎年度、国の施策及び予算に関する提案・要望といたしまして、北海道選出国會議員や国土交通省に対し、地方負担の軽減等に関する要望を行っており、今年度も5月15日に実施しておりますが、今後も引き続き、コスト縮減など、地方負担を軽減することについて、様々な機会を通じ、国に強く要請してまいります。</p> <p><b>【交通企画監】</b></p> <p>新幹線事業に係る地方負担についてでございますが、鉄道・運輸機構からは、先般の2030年度末の完成・開業が極めて困難と公表した際に、札幌延伸に係る事業費につきまして、現時点においては、令和5年3月末に変更認可された事業費の範囲内となっているとの説明があったところでございます。</p> <p>道としては、今後の工事においては、認可された事業費の範囲内での施工はもとより、工程の管理やさらなる工法の工夫などにより、できる限り工期が短縮されるとともに、コスト縮減などにより、地方負担の軽減が図られますよう引き続き、国や鉄道・運輸機構に対し強く求めてまいります。</p> |